



安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況

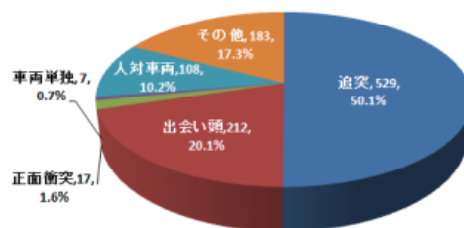
平成29年中

1 交通事故発生状況

平成29年中の安全運転管理者選任事業所の従業員が第1当事者(原付以上)となった人身交通事故(以下「安管事故」という。)は、前年と比較し発生件数及び死傷者数とも減少しました。

事故類型別では追突事故が全安管事故の約半数(1,056件中529件、50.1%)を占めており、違反別では安全不確認が30.9%(326件)と最も多くなりました。

【安管事故の事故類型】



【安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況】

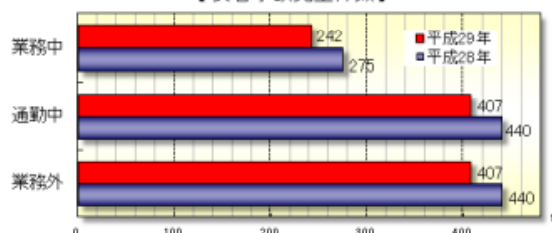
(平成29年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
本年	1,056	6	6	77	1,227	1,304	
前年	1,155	7	7	64	1,382	1,446	
増減	数	-99	-1	13	-155	-142	
減	率	-8.6	-14.3	-14.3	20.3	-11.2	-9.8

通行目的別では、全ての区分において発生件数及び死傷者数ともに前年より減少しました。

また、死亡事故は全ての区分において2件ずつ発生し、飲酒運転事故は通勤中に2件と業務外に4件発生しました。

【安管事故発生件数】



(業務中の事故)

(平成29年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
本年	242	2	2	14	286	300	
前年	275	3	3	12	343	355	
増減	数	-33	-1	2	-57	-55	
減	率	-12.0	-33.3	-33.3	16.7	-16.6	-15.5

(通勤中の事故)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
本年	407	2	2	37	449	486	
前年	440	2	2	26	501	527	
増減	数	-33	0	11	-52	-41	
減	率	-7.5	0.0	0.0	42.3	-10.4	-7.8

(業務外の事故)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
本年	407	2	2	26	492	518	
前年	440	2	2	26	538	564	
増減	数	-33	0	0	-46	-46	
減	率	-7.5	0.0	0.0	0.0	-8.6	-8.2

2 死亡事故発生状況（平成29年中）

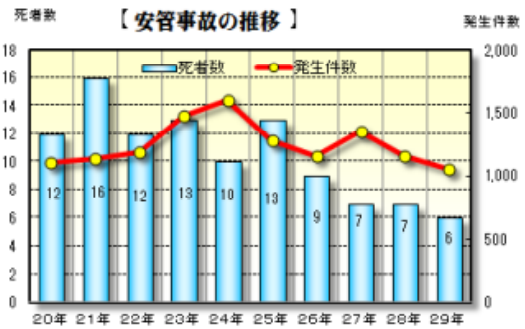
No.	発生年月日等						発生場所	路線	第1当事者				事故類型		死者		
	年	月	日	時	分	曜			性別	年齢	車種	通行別	事業所管轄署	類型A	類型B	状態	年齢
1	29	2	3	4	50	金	太白区根岸町	県道	男	31	軽乗	通勤中	岩沼署	人対四輪	その他	歩	54
2	29	2	25	17	40	土	栗原市花山	国道	男	60	普貨	業務中	若柳署	人対四輪	横断中	歩	92
3	29	3	17	20	55	金	多賀城市町前	県道	男	23	普乗	通勤中	仙台東署	四輪対自転車	右折	転	29
4	29	8	28	14	5	月	青葉区大倉	県道	男	44	自二	業務外	仙台東署	二輪対四輪	正面衝突	二	44
5	29	12	19	17	0	火	青葉区芋沢	県道	男	48	軽貨	業務中	仙台北署	人対四輪	横断中	歩	72
6	29	12	23	19	0	土	宮城野区幸町	市道	男	29	軽乗	通勤中	仙台東署	人対四輪	横断中	歩	75

3 発生推移（平成20年～平成29年）

過去10年間の安管事故の発生推移を見ると平成24年をピークに翌年から減少したものの平成27年に一旦増加し、その後減少傾向となっています。

また、死者数は10人台で増減を繰り返していましたが、平成26年から減少傾向が続いており、昨年の死者6人は記録が残る昭和50年

以降、最も少ない死者数となります。（過去の安管事故年間最多死者数は、平成8年の39人）



区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
発生件数	1,103	1,134	1,187	1,481	1,601	1,277	1,161	1,349	1,155	1,056
死者数	12	16	12	13	10	13	9	7	7	6

4 安管事故の発生特徴等（平成29年中）

(1) 業務中事故～発生件数242件

- 時間帯別では、13時台が28件(11.6%)で最も多く、次いで15時台(26件)が多い。
- 曜日別では木曜日が51件(21.1%)と最も多く、次いで月曜日(45件)が多い。
- 職業別では、建設業(38件、15.7%)が最も多く、次いで卸・小売業(37件)が多い。
- 第1当事者の年齢別では、30歳代が49件(20.2%)と最も多く、次いで40歳代が47件と多い。
- 事故類型別では、追突事故が125件(51.7%)で最も多い。（全人身交通事故における追突事故の構成率は、43.5%、7,491件中3,259件）

(2) 通勤中事故～発生件数407件

- 時間帯別では、7時台が101件(24.8%)で最も多く、次いで18時台(57件)が多い。
- 事故類型別では、追突事故が225件(55.3%)で最も多い。（追突事故の構成率は、業務中及び業務外の事故と比較して、通勤中事故が最も高い。）
- 違反別では、前方不注意が132件(32.4%)で最も多く、次いで安全不確認(105件)が多い。
- 飲酒事故が2件（重傷者1人、軽傷者1人）発生。

(3) 業務外事故～発生件数407件

- 時間帯別では、17時台が44件(10.8%)で最も多く、次いで18時台(36件)が多い。
- 通行目的別では、買物が123件(30.2%)で最も多い。
- 事故類型別では、追突事故が179件(44.0%)で最も多い。
- 違反別では、安全不確認が146件(35.9%)で最も多く、次いで前方不注意(108件)が多い。
- 飲酒事故が4件（軽傷者5人）発生。